

第2学年 道徳学習指導案

指導者 佐々木 巳樹

- 1 日時 平成25年7月5日（金）第1校時
- 2 学級 上田中学校2年1組 男子15名 女子16名 計31名 南校舎2階2年1組教室
- 3 主題 「役割と責任の自覚」【4－（4）】
「駐車場係として」（出典 『中学道徳2 明日をひらく』東京書籍）

4 主題について

内容項目4－（4）は「自己の属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める」ことを目指している。人間は、様々な集団や社会の一員として生活を営んでおり、集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義を十分に理解することが大切である。各人がその成員としての役割と責任を自覚して個々が責任を果たし、集団の目標を達成する中で、集団生活の向上が図られ、自己の実現もなされる。

本学級の生徒は、学校行事や授業、清掃活動など様々な活動に協力して取り組む姿が見られる。お互いの個性を尊重し合い、何事にも全力で取り組むことを目標に、明るい雰囲気がかんばっている。しかし、自分の行いが集団の他者に喜ばれたり役立ったりすることが、充実感、達成感につながることを自覚してはいるが、時として自己中心的な考えや自己顕示欲から、自己の思いのみを先行させてしまうなど、集団の目的に反した行動をとる場面も見受けられる。

本資料は、ソフトテニスの大会会場で、自分の欲求に負け役割を投げ出そうとする中学生の行動をもとにした葛藤資料である。役割を投げ出して自校の応援に行きたいという欲求に負けそうになりながらも、仲間の真摯な態度などによって自己の役割の重さに目覚めていく主人公を通して、一人一人が責任を果たすことで集団が向上し、個々も成長することに気づくとともに、自分のあり方や生き方を見つめる心を養いたいと考え、この主題を設定した。

5 本時のねらい

「役割と責任の自覚」【4－（4）】

「自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たし、集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。」

6 本時の評価

道徳的心情	集団生活の向上には、自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たすことが大切だと感じることができる。
道徳的判断力	集団の中で規律を守り、自らの役割と責任を果たすことができる。
道徳的実践意欲・態度	自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たし、集団生活の向上に努めようとしている。 【生徒の記述例】 様々な集団や社会の一員として、自分の気持ちだけを優先することなく、自分に与えられた役割や責任を果たさなければいけないということに改めて気づきました。これからの日常生活や学校生活でも、みんなのために自分の力を発揮しようという気持ちをもって行動できる人になりたいです。

7 本時の指導構想

(1) 「教えて考えさせる授業」にかかわって

本時は、道徳的実践意欲・態度の「自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たし、集団生活の向上に努めようとしている。」を主にねらったものである。

- ①【説明する】……「状況の把握」の過程において、本資料はソフトテニスの大会会場での出来事であること、主人公の中学生は大会会場で駐車場係として行動していたことを簡単に紹介し、共通理解をしてから資料に入っていきたい。また、範読後に、資料のあらすじを確認する。
- ②【理解の確認】……引き続き「状況の把握」の過程において、感想を求めることで、主人公が自分の欲求に負け役割を投げ出そうとしながらも、自己の役割の重さに目覚めていくことを確認し、本時で考えていきたい主人公の行動について焦点化していきたい。
- ③【理解深化】……「課題意識を高める」の過程においては、雨の中で駐車場係を務めながら、大会に出場できない悔しさ、みじめさを感じつつも係の仕事に取り組む主人公に気づかせたい。
そのうえで「価値の追求」の課程においては、キャプテンの試合を見るためにコートに向かった主人公をどう思うかを判断させる。駐車場係としての仕事を投げ出して、先輩の応援に行きたいという欲求に負けそうになる主人公の状況を十分に理解させ、主人公への共感を深めさせたい。
さらに、「変容契機をとらえる」「価値の把握」の過程においては、『ぼく』が駐車場係の仕事に戻ったのは、どんな気持ちからだろうか。』『ぼく』は、先生が言ったことばを、どう理解したのだろうか。』という発問をする。係の仕事に対して真摯に取り組む仲間の態度や、自分たちの存在を認め、応援してくれている人の存在を知る主人公。そして、大会を成功させるために、自分の役割を最後まで精一杯果たすという意味では、選手も駐車場係も同じだということに気がついた主人公。このことを通して、自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たすことが大切であることに気づかせたい。
- ④【自己評価活動】……自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たし、集団生活の向上に努めようとする記述とともに、自分の行動を振り返り、今後の実践につながるようなことを記述できるようになってほしい。

(2) 「表現すること」にかかわって

本時で大切にしたい「表現する」活動は次の2点である。

1点目は、キャプテンの試合を見るためにコートに向かおうとするが、駐車場係の仕事に戻った主人公の気持ちを考える活動。役割を投げ出して自校の応援に行きたいという欲求に負けそうになりながらも、仲間の真摯な態度などによって自己の役割の重さに目覚めた主人公の気持ちを十分に考えさせたい。

2点目は、自己評価活動である。1時間を通して感じたことや学んだことを、今までの自分を振り返らせながらじっくりと記入させたい。

8 本時の展開

段階	過程	学習活動	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入 (7分)	状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ※ 部活動の大会で補助員を経験したことがあるかを聞く。 ※ 資料の範読 		<ul style="list-style-type: none"> ・資料に対する共通理解をさせる。
展開 (35分)	課題意識を高める	<ul style="list-style-type: none"> ※ あらすじの確認 ※ 感想を求める。 「ぼく」の行動や考え方についてどのように思うか。 <p>1 雨の中、「ぼく」はどんな気持ちで駐車場係を務めていたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見に行きたい試合をがまんして、最後まで駐車場係を務めたのはえらいと思った。 ・あんなに練習したのに試合に出られず、こんな場所で雨に濡れているなんて、なんてみじめなんだろう。 ・なぜうちの学校が駐車場係なんだ。自分の学校がプレーするのも見られないなんて不公平だ。 ・役割だから仕方ない。最後までやらなければ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に答えてもらう。 ・大会に出場できない悔しさ、みじめさを感じつつも、係の仕事に一生懸命取り組む「ぼく」の心情をつかませる。
	価値の追究	<p>2 キャプテンの試合を見るためにコートに向かった「ぼく」をどう思うか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少し離れても大丈夫だと考えるのは仕方がない。 ・先輩を応援したい、試合を見る権利があるはずだと思う気持ちはよく分かる。 ・どんなトラブルにつながるか分からないから、離れるべきではない。 ・自分の役割を投げ出すのは無責任で、許されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」の行動に対する共感と批判それぞれの理由を説明させる。
	変容契機をとらえる	<p>3 「ぼく」が駐車場係の仕事に戻ったのは、どんな気持ちからだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事をやり続けている健ちゃんに対して恥ずかしくないように、僕も頑張ろうという気持ち。 ・僕たちの存在を認め、応援してくれている人がいることが分かり、うれしい。 ・自分の役割は駐車場係だ。最後まで自分の役割をしっかりと果たそう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が果たすべき役割や責任を再認識した「ぼく」の心の成長に気づかせる。
	価値の把握	<p>4 「ぼく」は、先生が言った言葉を、どう理解したのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この大会を成功させるために、自分の役割を最後まで精一杯果たすという意味では、選手も駐車場係も同じだ。 ・選手も大会を支える僕たちも、真剣な気持ちで取り組まなければならないという点では全く同じだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぼく」が、心の葛藤を経て改めて捉えなおした役割の大切さや責任についての価値感をつかませる。
終末 (8分)	自己評価活動	<ul style="list-style-type: none"> ※ 価値について考えたことを記入、発表 	<p>様々な集団や社会の一員として、自分の気持ちだけを優先することなく、自分に与えられた役割や責任を果たさなければいけないということに改めて気づきました。これからの日常生活や学校生活でも、みんなのために自分の力を発揮しようという気持ちをもって行動できる人になりたいです。</p>	<p>【道徳的実践意欲・態度】 自己の属する集団の意義を理解し、進んで自らの責任を果たし、集団生活の向上に努めようとしている。</p>